



第2号

発行日 平成25年9月1日
発行 紫竹山小学校区
コミュニティ協議会

紫竹山コミ協 会報 むらさき

地域の絆を大切に

紫竹山校区コミュニティ協議会

副会長 辨田 徳一



紫竹山校区コミュニティ協議会(以下「コミ協」)も平成18年11月26日の結成から7年目を迎え、各役員のご尽力と会員皆様のご理解とご支援を賜り今日まで順調に推移して参りましたことを厚く御礼申し上げます。

今年度も去る5月21日に駅南コミュニティセンターに於いて第七回の総会を開催し、平成24年度の収支決算報告、会計監査報告、活動報告、専門部会の事業報告、平成25年度の役員選出、平成25年度の事業予定、予算案の内容説明があり、審議の結果原案どおり承認され新年度がスタートしております。コミ協の活動は、原則としては、総会の議決に基づいて運営されていきます。ここで発足時の基本理念と照らし合わせ、会の運営方法を再検討し、初期の目的通り市民が行政と役割を分担し、協力しながらまちづくりを進められる体制になり、地域の防災や地域福祉、教育など地域の諸問題の解決に取り組めます。こうした課題を集約・協議し、代表者を通じて区自治協議会に提案できるコミ協になり、地域住民の希望する住みよいまちづくりに参加できるようなれればと思います。それには、地域の絆を大切に、その地域に住む人々がお互いに話し合い、協力しながら一つ一つの課題を解決出来る環境を今以上に構築して行かなければならないと思います。これからもコミ協の運営に、会員の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

自分の命を守る のでしょいか?

バストラルハイム米山荘番館自治会
会長(防災士) 中村 昌雄

防災については、内容が豊富なので、シリーズ化したい。第一回は、自助(自分達を助ける)について書きたい。新潟市中央区では、地震、津波、内水・外水氾濫等災害を考えなければなりません。ゼロm以下の地点がかなりの部分を占めているからです。

- ①自分の住んでいる地域、働いている地域、よく行く場所をハザードマップ・道路マップ等で危険な場所を確認しましょう。
- ②災害情報を入手する手段(テレビ、ラジオ、携帯電話、パソコン...)をいくつか用意しましょう。
- ③自分の命を自分で守る判断力をつけましょう。避難場所を決め、避難した方が安全か、しない方が安全かを判断する。
- ④自宅の耐震対策をする。自宅の身の回りを整理し、家具の転倒防止対策や身の回りの安全対策をする。私達は都市型地震である阪神淡路大震災から学ばなければなりません。死者の8割が圧死・窒息死でした。
- ⑤地震倒壊で命が救われたら次は地震火災で、閉じ込められ火災に巻き込まれないように日頃の対策や行動が必要です。

緊急時の避難場所を 決めておきましょう

指定避難場所は次の3カ所のみです。
○紫竹山小学校
○駅南コミュニティセンター
○北越高等学校



⑥津波警報が出たら、身近にある3階以上の鉄筋コンクリートビルに避難しましょう。

防災は難しい。人は楽しいことへの考えを巡らすことはするが、嫌なことを考えることはやらない。日頃から考えている人は、必ずその効果(命を守る)がある。

各自治会の活動状況

紫竹山自治会

活動状況を説明する前に自治会の構成状態について記述します。紫竹山自治会は、紫竹山一丁目から紫竹山七丁目の七町目で形成されており、それを開発の時期、世帯数構成等から現在では次のように分割して運営されています。

- 一丁目地区、二丁目地区、三丁目地区、四丁目地区、南A地区、南B地区、南C地区、I-506世帯(平成25年4月1日現在)



以上の地区を各々の担当副会長一名が管理し、全体として総括的に会長一名、会計一名、監査二名で管理運営を行っています。

自治会の活動状況

- 1 市又は関連団体からの依頼される文書の閲覧又は配布
- 2 春と秋に開催される鳥屋野湯一斉清掃への参加
- 3 交通安全共済加入申込書配布及び加入者の取り纏めと申込手続き
- 4 新潟市の集団資源回収活動に登録し、自治会として毎月第一日曜日に古紙回収の実施
- 5 紫竹山自治会総会、新役員会の面談会の開催
- 6 毎月28日定例役員会(会長一名、副会長七名、会計一名計九名出席)の開催
- 7 町内一斉清掃(雨水枡・側溝・道路・一部普削り排水路含む)
- 8 町内四箇所に設置されている市の公園の管理協力(除草・清掃・剪定・水やり等)防犯灯の維持管理
- 9 ゴミステーションの維持管理
- 10 長年時代の建立と言われている神社、神明宮の祭礼(8月20日、21日)に参加(氏子に協力して神社清掃他、育成部の子供御輿、青年部の夜店等)
- 12 老人クラブ紫竹山百寿会に活動資金助成



25年度総会

平成25年度	コミュニティ協議会組織表	氏名
コミ協役員	所屬自治会等	
会長	鍛冶第二自治会長	石口 輝雄
副会長	米山第四自治会長	阿部 篤義
副会長兼理事	紫竹山自治会長	辨田 徳一
顧問	鍛冶第一自治会	渡邊清正郎
総務	鍛冶第一自治会長	長谷川 潔
会計	駅南ハイッ会長	中村 哲
監事	米山第三自治会長	松本 弘三
健康福祉部会長	民児協会長	南波 和夫
青少年育成部長	小学校PTA会長	渡辺 秀介
環境整備部会長	米山第五自治会長	安倍 哲
理事	米山第六自治会長	岡 徳太郎
理事	鍛冶自治会長	長谷川勝之丞
理事	バストラルハイム米山荘番館会長	中村 昌雄
理事	バストラルハイム米山荘番館会長	常木 哲哉
理事	エイルマンション新潟駅前会長	伊藤 直也

「温もりを感じる 地域社会を目指して」

紫竹山地区民児協
副会長 武田 早苗

私達、民生委員児童委員(主任児童委員を含む)16名は、高齢者世帯等が安心して暮らすための支援や、子どもたちの健全育成の見守り等、幅広い活動を行っています。その中で、定期的なボランティア活動としては「友愛訪問」や「駅南茶の間」などがありますが、これら訪問先の方や参加者の皆様から「毎回とても楽しみにしています」という声に、私達は活動する喜びを感じています。また、小・中学生の登下校時、セーフティスタッフの人達との見守り活動は、子どもたちの笑顔と共に、その日一日の活力となる明るさと元気をもらっています。



駅南茶の間

感じる温もりを地域社会を目指して、活動して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

自転車事故について

新潟市子どもセーフティスタッフ
バストラルハイム米山荘番館
佐藤 修自



1年生下校指導

全国的に自転車事故が多発しています。事故が起これば被害者の不幸にとどまらず、加害者にも原因により高額な損害賠償が求められます。今年七月の新聞の報道によれば、神戸で小学五年男子の自転車にはねられた女性が寝たきりとなり、小学生の母親に九五〇万円の支払いを命ずる判決が出ました。このような高額な賠償金の請求を受ければ大部分の家庭は破綻してしまいます。この実態を肝に銘じ常に安全運転を心掛けたいものです。

専門部活動

●防火防犯部会

「地域を守る防火防犯活動」

部会長 石口 輝雄

防火防犯の活動としては、会報・ポスター等の各自治会への配布が主たるものです。防犯としては、東警察署で行われる会計監査・総会などは、防火については、万代公民館で行われる役員会議、総会および防火ポスターの審査会、先進地の防火施設の視察などに参加しています。現在とくに指摘する事柄としては、各自治会に掲示板が少ないためポスターの貼り場所が無いのが悩みのタネになっていきます。「火の用心旗」についても同様であり、設置場所が私有地に限定されていることである。もし強風などで道路側に倒れたりして歩行者にケガなど、迷惑が掛かることを恐れて現在は設置する処が少なくなっています。

さて昨年度は防火活動の初期消火（救命処置を含む）の訓練が出来なかつたことは残念でした（体調不良のため）。今年の防犯の予定としては、中学生の夏休み中の夜間の見廻り隊を宮浦中育成協との協働で実現出来ればと思っています。また今年には是非とも救命処置を含めた初期消火訓練を小学校PTAと一緒に出来ればと考えています。ひとりでは無理があるので、皆様のご協力を切にお願いいたします。



●青少年育成部会

「紫竹山校区の安全活動」

PTA会長 渡辺 秀介

毎年恒例の「蒲原祭り」も地域の皆様のご協力のおかげで無事終わり、ひと仕事やり遂げた感があります。また、日常の登下校など平時の生活においてもご協力いただき感謝しております。

本年度当校区での活動は、宮浦中育成協、各自治会協賛で8月4日の校区内の清掃クリーン作戦、12月14日の年末街頭キャンペーンなどを予定しています。

例年通り皆様のご理解ご協力を頂き、よりよい環境で子どもたちの成長を見守っていただきますようお願いいたします。



●健康福祉部会

「健康教室」

部会長 南波 和夫

昨年秋口に開催いたしました「健康は笑いから」の第二弾は、水都家笑師匠による落語口演で、日常の雑事を忘れさせ、会場は心地よい笑いの渦に包み込まれ大好評をいただきました。

さて、今年の「健康教室」では原点到り、高齢者やその予備軍を対象にした、仮称「転ばぬ先の杖の健康チェック」をテーマに、目下思いを巡らせているところ。高齢者だけでなく、思わぬ転倒で骨折するケースも増えています。どうぞご期待してお待ち下さい。



●交通安全部会

「交通事故防止運動にご協力を」

部会長 阿部 篤義

日ごろ交通安全対策について地域住民のご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

春の全国交通安全運動に始まり、夏・秋・冬と四季にわたり交通事故防止運動が展開されます。近年子どもたちの交通事故より高齢者の死傷者数が増加しております。夏休みに入るこの時期は、子どもたちや若者の開放感から起こる事故や夏のレジャーによる疲労運転等による事故の発生が懸念されます。このため「事故を起こさない」事故に遭わないために地域住民に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼びかけ、事故防止の徹底を図るべく努力していきたいと思っております。

当部会として紫竹山コミュニティ協議会の役員会員をはじめ民見協、セーフティスタッフ、安心安全パトロール隊員、PTA・育成部員の皆さん方のご協力のもと交通事故を一件でも少なく、子どもたちは勿論、高齢者の皆さん、地域住民の皆さんが交通災害に遭わないように今年も交通事故ゼロの運動を展開したいと思います。



会計報告

平成24年度の決算は左記のようになりましたのでご報告いたします。

今年度より自治会分担金が、150→100円になりました。平成25年度も安全で住みよい校区になるよう、ご協力をお願いいたします。



平成24年度決算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

科 目	予算額	決算額	内 訳
前年度繰越金	2,838,919	2,838,919	
自治会分担金	728,100	728,100	150円×4,851世帯
社会福祉協議会活動助成金	260,000	209,580	
コミ協運営助成金	200,000	335,691	
コミ協部会・研修会参加費	120,000	76,000	16名
古紙回収助成金	300,000	345,210	4回分
雑収入	10,000	19,247	各部会活動助成金・代表者会議清算金・利息
計	4,457,019	4,552,750	

科 目	予算額	決算額	内 訳
総会・役員会等会議費・交通費	230,000	325,000	編集会議・交通費・雑費・会長活動費
防火防犯連合会活動助成費	250,000	250,000	
交通安全推進協・活動助成費	100,000	100,000	
総会・研修会等助成費	350,000	208,663	総会、研修会1回
事務費	250,000	80,000	
消防団助成費	72,810	72,900	15円×4,860世帯
コミ協代表者会議参加費	50,000	50,000	
紫竹山小後援会助成費	150,000	11,400	職員送迎会
各部会活動費	100,000	43,691	健康福祉部会
印刷費・雑費	10,000	143,489	会報印刷代等
予備費	2,894,209	3,267,604	
合 計	4,457,019	4,552,750	

平成25年度予算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

科 目	前年度決算額	予算額	内 訳
前年度繰越金	2,838,919	3,267,604	
自治会分担金	728,100	485,400	100円×4,854世帯
社会協議会活動助成金	209,580	200,000	
コミ協運営助成金	335,691	200,000	
コミ協研修会参加費	76,000	100,000	2回
古紙回収助成金	345,210	300,000	
雑収入	19,247	50,000	各部活動助成金、その他
計	4,552,750	4,603,004	

科 目	前年度決算額	予算額	内 訳
総会・役員会等会議費・交通費	325,000	350,000	諸会議交通費、雑費、会長活動費
防火防犯連合会活動費	250,000	250,000	
交通安全推進協・活動助成費	100,000	80,000	
研修会等助成費	208,663	250,000	
事務費	80,000	100,000	
消防団助成費	72,900	72,900	15円×4,860世帯
コミ協代表者会議参加費	50,000	50,000	
紫竹山小後援会助成費	11,400	20,000	小学校職員送迎会
各部活動費	43,691	200,000	
印刷費・雑費	143,489	170,000	会報発行、他
予備費	3,267,604	3,060,104	
合 計	4,552,750	4,603,004	

小学校後援会の解散について

会長 石口 輝雄

平成24年度の後援会総会で解散することに致しました。紫竹山小学校創立当時紫竹山連合会・松尾俊栄会長が児童のクラブ活動の野球のユニホーム、楽器など器具が無く、整備が急がれたため、連合会で後援会を設立し応援することになったのが始まりでした。十周年までは年二十万円を供出してきましたが、同窓会が発足したこともあり24年まで十万円としてきましたが、二十周年を契機に同窓会の社会人としての成長が期待出来ることもあり、後援会の役割を終了することと致しました。

本年度の年間活動予定

各専門部がそれぞれの計画に則って活動を行います。時期は未定ですが、近くなりましたら案内があるかと思えます。その際には多数の参加をお待ちいたします。なお、役員の仕事としては、中央区長との懇談、研修会が予定されています。

編集後記

読みやすい会報となるように編集委員一同知恵を出し合って取り組んでいます。今回から各自治会の活動模様を順次載せていくことに致しました。